



これは、栗の花です。ご覧になったことはありますか。モールのような形状で垂れ下がっているのは雄花。栗の木の下にたくさん落ちています。拾った雄花だけを見せると、こどもたちに「虫？」と聞かれました。この写真を実物投影機で大写しにすると、「あれ？垂れてないのがある」と気づき始めた児童がいました。雌花です。探せましたでしょうか？ある子が、

『夏の中 実のなる時期待つ 栗の花』

と詠みました。季語が重なっていますが、結実への思いを句に詠み込み、クラスメートから感心されました。

理科の授業ではありませんが、普段何気なく目にしているものを詳しく見て、身の回りの 不思議に触れて、自分の言葉で表現する俳句をつくることで、本区の児童生徒の心は確実に豊かになっていることを感じる日々です。